

菖蒲町栢間の歴史と自然を歩く

菖蒲地区文化財お散歩マップ

(令和8年2月現在)

菖蒲町栢間地域は、市内でも多くの遺跡が分布する地域で、天王山塚古墳に象徴されるように古代から栄えていた地域です。江戸時代には、徳川家康の十六神将のひとり、旗本内藤正成が栢間村、戸ヶ崎村、三箇村、小林村、新堀村の5か村を治め、善宗寺には内藤家の歴代の墓所が残されています。歴史と自然が調和した栢間地区を散策してみませんか。

コース 約7.2km (徒歩約1時間30分)

森下コミュニティセンター (30分) - ①善宗寺 (5分) - ②内藤陣屋跡 (10分) - ③正法院 (10分) - ④天王山塚古墳 (7分) - ⑤神明神社 (20分) - 森下コミュニティセンター



はたもとないとうけきだい
①-1 旗本内藤家歴代の墓所



かえいさんねんめいほうきょういんとう
①-2 嘉永三年銘宝篋印塔



ないとうじんやあと
② 内藤陣屋跡



もくぞうじゅういちめんかのんりゅうぞう
③ 木造十一面観音立像 (非公開)



てんのうやまづかこふん
④ 天王山塚古墳



しんめいじんじやとりい
⑤-1 神明神社鳥居



しんめいじんじやはいでん
⑤-2 神明神社拝殿



しんめいじんじや しやそう
⑤-3 神明神社の社叢

① **善宗寺** ぜんそうじ 市指定文化財 旗本内藤家歴代の墓所
市指定文化財 嘉永三年銘宝篋印塔及び宝塔記碑

内藤正成が建てた善宗寺境内に、正成以下幕末に至るまでの内藤家当主とその夫人の墓である宝篋印塔 22 基が建ち並びます。また本堂前には、嘉永 3 年 (1850) 銘の 5m を超える大型の宝篋印塔と、その由来を記した碑があります。

② **内藤陣屋跡** ないとうじんやあと

天正 18 年 (1590) 内藤正成が陣屋を構え、幕末に至るまで菖蒲領 5 か村・5000 石を治めました。現在の栢間小学校と周辺の敷地が旗本内藤家の陣屋跡です。陣屋の周囲には幅 10~20m の堀がめぐらされていました。

③ **正法院** しょうぼういん 市指定文化財 木造十一面観音立像 (非公開)

康正元年 (1455) この地を治めた領主鳩井将監が建てたと伝えられる寺院で、江戸時代には 3 代将軍徳川家光から 10 石余りの領地を与えられました。境内の観音堂にある秘仏の木造十一面観音立像は、室町時代の作です。

④ **天王山塚古墳** てんのうやまづかこふん (県指定史跡)

全長 100m を超す県内有数の規模を誇る前方後円墳です。今からおおよそ 1400 年前の古墳時代後期に造られたと考えられています。墳丘には、江戸時代に築かれた薬師堂や鎌倉時代の板石塔婆があるほか、後円部には江戸時代に築かれた富士山を模した塚などがあります。

⑤ **神明神社の社叢** しんめいじんじや しやそう (県指定天然記念物)

神明神社は、江戸時代の栢間村の鎮守社で、旗本内藤氏が治めた菖蒲領 5 か村の総鎮守でもありました。500m を超す参道沿いの社叢 (約 1.7ha) では、アカシデやヒサカキなど 47 種類の樹木が確認でき、県東部低地の自然林の植生を観察することができます。

弁天沼 べんてんぬま

昭和 41 年 (1966) ほ場整理事業で誕生した沼です。近くの弁天社からこの名が付けられました。現在は農業用水の調整池になっています。近くには JA 南彩の農産物直売所や食堂などの商業施設が整っています。

森下堤 もりしたづつみ

江戸時代に元荒川の氾濫から地域を守るために築かれた堤防といわれています。堤上に桜が植えられており、桜の名所として栢間赤堀の桜とともに地元の人々に親しまれています。

菖蒲城跡 しょうぶじょうあと

康正元年 (1455) 古河公方の家臣佐々木 (金田) 氏が古河城防備のため築いたと伝えられる城跡です。昭和 15 年 (1940) に建てられた記念碑などがあります。

日本の公園の父 **本多静六記念館** ほんだせいろくきねんかん

新堀バス停より徒歩約 15 分
久喜市菖蒲行政センター 5 階
開館日等 日曜日~金曜日 9:00 ~ 16:30 入館無料
休館日 土曜日・祝日 (日曜日の場合は開館し、翌日休館) 年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)



本多静六

久喜市菖蒲町河原井出身の本多静六は、日本最初の林学博士として、また「日本の公園の父」として知られています。本多静六記念館には、博士の自筆のノートや手紙、遺品、書籍など様々な資料が展示されており、その生涯や業績を詳しく知ることができます。



全国各地の本多静六ゆかりの公園・観光地も紹介しています

